



鳥取県教育センターだより

H27年度 第4号

平成27年11月30日 発行

〒680-0941 鳥取市湖山町北5-201 【TEL】 0857-28-2321(代表) 【FAX】 0857-28-8513

【URL】 <http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku-c/> 【e-mail】 kyoikucenter@pref.tottori.jp

シリーズ研修 「充実の秋」

各園・学校におかれましては、指導力向上をめざして、園・校内研修や授業研究を実施されて、OJTを進められていることと思います。当センターにおいても、教育課題に対応したさまざまな研修を行っています。その一部を紹介します。

教育企画研修課担当コーナー

10/20 【10年経験者研修（小学校）】 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 直山 木綿子
講義・演習 「これからの小学校外国語教育」「児童が主体的に活動する指導の工夫」

講義では、小学校からの外国語教育の必要性とその背景、中学校英語との相違点を確認しました。「今ある外国語活動を充実させること」が何より大切だということと充実のための方法として、下記の3点について学びました。

- ①教室英語の使用
- ②他教科との連動
- ③一単元での授業設計

また、評価のあり方と方法では、行動観察、振り返りシートの活用と次時への活かし方等についても考えておくことが必要だにご指導いただきました。外国語活動の授業のイメージが明確になり、間違いを恐れずやってみようという意欲につながる研修となりました。



～ゼミナールとは？～

小・中・高等学校において、喫緊の教育課題についての専門的知識を基盤とした実践的研修をとおして、学校の教育活動の中核となる教員の指導力向上とその普及を図り、児童生徒の学力向上に資することを目的とした研修です。

10/19 教科・領域指導力向上ゼミナール「中学校特別支援教育」
県外視察 愛知県刈谷市立依佐美中学校

依佐美中学校は、ゼミナールでお世話になっている名城大学 教授 曾山和彦先生がこれまで4年間スーパーバイザーとして関わられ、ゼミナールの柱ともいえる「配慮の必要な生徒のためには周りの生徒の関わる力を育てる」という先生の理論をもとに研究を進めている学校です。特に、自尊感情を高めていくための生徒同士の関係づくりを中心とした実践を行っており、その中でも自他理解を育むための「よさっぴタイム」を導入し、各教科等の授業展開に『よさっぴトーク』と名付けたペアグループ活動を取り入れています。今回の県外視察は「生徒同士の関わりと教師と生徒との関わりができていからこそ、生徒にとって学級に居場所があり、学習指導や特別支援教育が機能していること」

について学ぶことができました。



10/22・29「初任者研修（小学校・中学校・高等学校）」特別支援学校の教育に学ぶ



初任者研修では、県内の特別支援学校の協力を得て、学校現場で体験的に学ぶ研修を実施しています。本年度も128名の初任者が9つの特別支援学校でお世話になり、研修を行いました。初任者は、講義や授業参観・体験をとおして、教師と児童生徒の信頼関係の大切さ、授業づくりや環境づくりの工夫の仕方、具体的な場面における指導・支援の仕方等多くを学びました。「児童生徒の将来を見据えた指導・支援と生きる力を育む教育」について体感したこの学びは、明日からの実践に生きる学びとなりました。



学力向上担当コーナー

米子高等学校
鳥取西高等学校

で「**学びの文化祭**」が開催されました

10月29日（木）米子高等学校

- ◎研究授業（国語、数学、英語、情報、農業）
 - ・知識構成型ジグソー法を取り入れた授業
 - ・ペア、グループ活動を取り入れた授業
- ◎パネルディスカッション
「アクティブ・ラーニングと協調学習～その将来の展望も添えて・・・～」



【指導助言者】

国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始
静岡大学 教授 大島 純
" 教授 大島律子
" 准教授 益川弘如

＜ALとはどのような学びか＞

- 子どもが自分で答えをつくる学び
- 子ども同士が考えながら対話して自分の考えを少しずつ変える学び
- 学んだことが次の問いを生む学び

まずは
教師自身が「主体的な学習者」へ

11月2日（月）鳥取西高等学校



- ◎研究授業（古典、現代文、化学、数学、英語、音楽）
 - ・知識構成型ジグソー法を取り入れた授業
 - ・ペア、グループ活動を取り入れた授業
 - ・タブレットとクラウドを活用した授業
- ◎授業研究会（分科会、全体会）
「知的総合力を育成するための協同的・探究的学び」

両日ともに、県内の小・中・高等学校の先生方、教育関係者、鳥根県や兵庫県の先生方あわせて90名以上の参加がありました。

多くの授業で、生徒たちが課題について自分の考えをもち、対話をとおしてさらに答えをつくり出そうとする主体的な学びが行われていました。

授業後に行われたパネルディスカッションや授業研究会では、指導助言者の先生方から研究授業へのコメントをいただくとともに、「ALとはどのような学びか」「AL型の授業、協調学習を進めていくためには、まずは教師自身がつながり、『主体的な学習者』となることが大切である」という助言をいただきました。

出かけるセンターやっています！
「いつでも、どこでも」を合い言葉に

ICT活用教育担当コーナー

当センターは、『教職員研修等実施協議会』を年2回行い、委員の皆様にご意見・ご要望をいただいております。その中で、もっと『出かけるセンター（指導主事等派遣）』について、情報提供をしていくようにとご意見をいただきました。

ICT活用教育担当では、タブレット端末を使った「ネットコモンズV2」「ICTタブレット端末活用研修」と「情報モラル研修」の3つの内容で出前研修を行っており、現時点で20講座の開催を行いました。

研修時間や詳しい内容等は、お気軽にお問い合わせください。電話 0857-28-2323

番号	研修名	内容(所要時間)	担当課(講師)
1	ネットコモンズV2	ネットコモンズV2の操作研修をします。ネットコモンズV2への変更・運用をお手伝いします。(約2時間)	教育企画研修課 ICT活用教育担当
2	情報モラル研修	情報モラル教育の基本について講義します。情報モラル指導の基本的な考え方や授業の作り方についてお話しします。(約1時間)	教育企画研修課 ICT活用教育担当
3	ICT活用研修	(1)タブレット端末を活用した授業改善のお手伝いをします。タブレット端末は、教育センターが準備できます。 (2)デジカメとパソコンを使った考える授業づくりについて研修を行います。(約1時間)	教育企画研修課 ICT活用教育担当
4	楽しいワークショップ型授業研究会	学習者主体の授業づくりを進めるための校内授業研究会をお手伝いします。授業分析法をパッケージにしたワークショップによる研修を行います。(約1時間)	教育企画研修課 研修企画担当
5	事例検討会支援	チェックシートを活用して、特別支援が必要な児童生徒への支援を考える研修を行います。(約1時間～1時間30分)	いじめ・不登校総合 対策センター
6	Q-Uを活用した学級集団づくり	結果の読み取り、解釈の方法、支援・指導への活用について研修します。(約1時間～2時間)	いじめ・不登校総合 対策センター
7	小学校理科の観察・実験出前講座	小学校理科の観察例・実験例の中から希望する講座を選んでいただき、実験や観察の方法を学ぶ研修を行います。(約1時間～1時間30分) 一詳細	教育企画研修課 研修企画担当

平成27年度 **情報モラルについて考える!(その2)**

「情報通信の安心安全な利用のための標語」

協議会長賞（児童部門） 受賞標語

悪いのはネットじゃなくて 自分だよ

大西 秀征 さん（小学生・神奈川県）